2017~2018 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

ロータリー：
変化をもたらす

RI 会長テーマ

会　長　水野　賢一
幹　事　鈴木　信男
副会長　高木　久子

会長指針：
一人はみんなの為に

・・・　例　会　記　録　・・・

１１月第２週例会　２０１７年１１月９日（木）

ソ　ン　グ　：　我等の生業　　ボックス　：３１，０００円　　（報告者　休石　正基会員）

本日出席率　：　７６．９２％　前回修正後６１．５４％（ﾒｰｸｱｯﾌﾟ０名）　　（報告者　千田喜一郎会員）

★　会長の時間　水野賢一会長

　最近のニュースは、トランプ大統領訪日とか、殺人事件、不倫騒動、自然災害など毎日いろいろ報道されていますが、私が最近チョット気になったニュースはドローン墜落事故のニュースです。岐阜県大垣市で開催された「ロボフェスおおがき2017」で菓子まきをする為飛行中の「ドローン」が墜落し子供４人を含む６人が軽傷を負った事故です。事故原因を、操縦者は風に流されたと説明しているとの事ですが、ラジコン電波の障害なども考えられると言っている評論家もいるそうです。
そもそも大勢の観客の頭上にラジコンを飛行させること自体間違いと思います。
突風が吹かもしれないし、電波障害がおこるかも知れない、最新技術を搭載していても過信はいけません。
最近の車でも、ブレーキの踏み間違え発進を防止するとか、前の車に付いて自動運転するとか色々な安全装置が付いている車が増えてきています。カメラや、電波を使用していると思いますが、私の車の取扱い説明書には、運転補助装置、衝突軽減装置とか書いてあります。性能も良い安全装置では有りますが、ドローンの墜落の様に絶対安全では無いのです。安全装置が誤作動する事も有るかもしれません。
私も最近考え事をしていてオートマのドライブとバックを間違えたりしましが、幸いに事故にはなりませんでしたが、運転は最終的には運転者の操作にかかっていると思います。
　会員の皆さんの半数はご高齢になられておりますので、どうぞ気を確かに安全運転で事故の無いよう気を付けてお願いしたいと思います。

◆◆◆　　幹事報告　　◆◆◆

１　大船渡市・陸前高田市剣道協会より
　第 32 回気仙地区剣道スポーツ少年団剣道大会への支援のお礼と終了挨拶が届いています。

２　難民を助ける会より　機関紙が届いています。

３　ガバナー事務所より
　田中堯史ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会の案内が届いています
　日　時　１２月１０日（日）受付１６時３０分～
　場　所　メトロポリタン盛岡本館
　登録料　１人 10,000 円
　締切り　１１月２２日
　昨年度決算並びに監査報告も同時開催

★　高木副会長より

東北「絆」こどもプロジェクト 2017ｉｎ大船渡開催の案内が紹介されました。

１１月２３日（木・祝）９時～　市民体育館　　全日本卓球女子元代表監督の卓球講習会もあり。

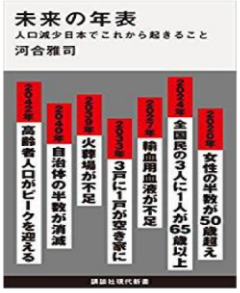
事前申し込みが必要。

◆◆◆　　本日のプログラム　　◆◆◆

クラブ奉仕アワー　：　伊藤久信会員卓話

資料を基に、ユーモアを交えながらお話しして頂きました。

東京出張の際に読んだ本から



出版　講談社
著者　河合雅司
2017/8/7

内容紹介

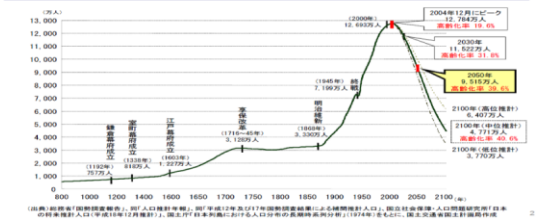
日本が人口減少社会にあることは「常識」。だが、その実態を正確に知る人はどのくらいいるだろうか?
人口減少に関する日々の変化というのは、極めてわずか。ゆえに人々を無関心にする。だが、それこそがこの問題の真の危機、「静かなる有事」であ

書店には、人口減少・少子高齢社会の課題を論じた書物が数多く並ぶ。しかし、テーマを絞って論じるにとどまり、恐るべき日本の未来図を時系列に
かつ体系的に解き明かす書物はこれまでなかった。それを明確にしておかなければ、講ずべき適切な対策とは何なのかを判断できず、日本の行く末
えることは叶わないはずなのに、である。本書が、その画期的な役目を担おう。
第1部は「人口減少カレンダー」とし、年代順に何が起こるのかを時系列に沿って、かつ体系的に示した。未来の現実をデータで示した「基礎編」である
第2部では、第1部で取り上げた問題への対策を「10の処方箋」として提示した。こちらは、全国の公務員・政策決定者にも向けた「応用編」と言える。
これからの日本社会・日本経済を真摯に考えるうえでの必読書!

<主な内容>
第1部 人口減少カレンダー
2017年「おばあちゃん大国」に変化
2018年 国立大学が倒産の危機へ
2019年 IT技術者が不足し始め、技術大国の地位揺らぐ
2020年 女性の2人に1人が50歳以上に
2021年 介護離職が大量発生する
2022年「ひとり暮らし社会」が本格化する
2023年 企業の人件費がピークを迎え、経営を苦しめる
2024年 3人に1人が65歳以上の「超・高齢者大国」へ
2025年 ついに東京都も人口減少へ
2026年 認知症患者が700万人規模に
2027年 輸血用血液が不足する
2030年 百貨店も銀行も老人ホームも地方から消える
2033年 全国の住宅の3戸に1戸が空き家になる

【図Ⅰ－1】我が国の人口は長期的には急減する局面に

○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。この変化は千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。



	2010年		2030年		
	総人口	生産人口	総人口	生産人口	
全国	1億2800万	8100万	1億1700万	6800万	
岩手	130万	80万	110万	50万	
大船渡	4万	2.4万	3万	1.5万	62%

（地方は20年早く問題化する）

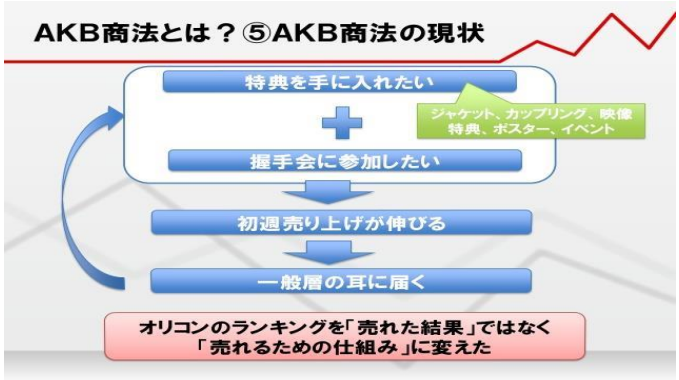
出版　講談社
著者　鈴木貴博
2017/9/15

内容紹介

生存率51%!
あなたは生き残る側?
どうすれば仕事が消滅しても人間は幸福か?
いま最も必須の知識!

2025年 まずドライバーの仕事が消滅。金融ではAIファンドマネジャーが人間を駆逐
2030年 銀行員、裁判官、弁護士助手など専門的頭脳労働者がAIに換わる
2035年 経営者、中間管理職、研究者、クリエイターもAIに。サラリーマンは逆年功序列化する

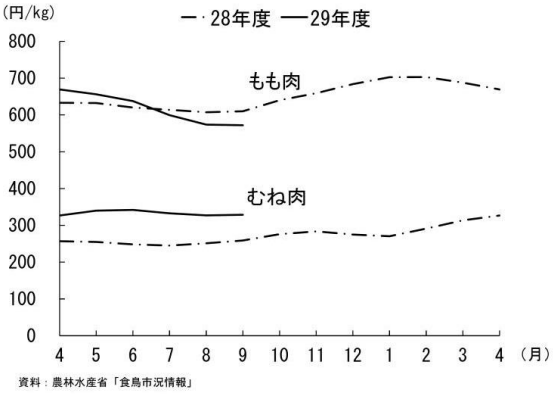
ロボットは性能が上がっても、その数がボトルネックになるために仕事消滅についての人類の本当の敵にはならない。
この本の読者の年齢が最年少でも15歳程度だとすれば、大半の読者の一生は、汎用タイプの人型ロボットによって仕事が消滅する危機からは無関係
に終わることになる。一方でAIは違う。人類を超える汎用的でかつ世界最高レベルの頭脳が開発されれば、それは数十分でデジタルコピーできる。
だから本当に心配すべきは肉体労働の仕事ではなく、頭脳労働の仕事だ。仕事消滅は2030年代以降、主に頭脳労働者の職場で起きることになるの



やばい　：若者言葉で，すごい。自身の心情が，ひどく揺さぶられている様子についていう。

この「やばい」のおかげでサラダチキンチーズ味の売り上げ急増！

鶏肉の卸売価格（東京）



もも肉と胸肉の価格差４４０円⇒２６０円

年商 80 億、店舗数 75 店舗

アニマルウェルフェアの考えに対応したブロイラーの飼養管理指針

アニマルウェルフェア：　快適性に配慮した家畜の飼養管理